



## 1 学期終了！大変お世話になりました

～終業式の話より～

・・・人間が一人前の大人になるには、3つの時間を通らなければならないと言われていました。1つめは「ラクダの時間」です。ラクダは熱い砂漠の中を、水も飲まずに重い荷物を運びます。とてもきついですね。大人になるための1つ目、「ラクダの時間」は「がまんの時間」です。



次の時間は「ライオンの時間」です。ライオンは相手に向かって吠えますね。ラクダになってがまんする力を身につけた人は、次に、おかしいことや間違っていることに意見を言えるようにならないといけません。「ライオンの時間」は「伝える時間」です。



次の時間は「赤ちゃんの時間」です。赤ちゃんは自分の気持ちに正直に新しいことにどんどん挑戦してできるようになります。誰かに教えてもらうわけでもないのに、立つために手すりを持ったり何かにつかまったりしながら自分で工夫してできるようになります。「赤ちゃんの時間」は「チャレンジと工夫の時間」です。



この3つの中で小学校で大事なものは「ラクダの時間」です。みんなもきついことや嫌なことはたくさんありますね。朝から眠いのに起きるのは嫌でしょうね。苦手な食べ物を食べるのも嫌でしょう。でも、そのいやだという気持ちをがまんしてすることが、小学校のうちはとても大切です。しゃべりたくても黙って人の話を聞くことや、ゲームをしたくても時間が来たらやめることなど、皆さんの周りには「小さながまん」がたくさんあります。でも、そのがまんができるようになると、嫌なことも嫌ではなくなってきました。大きくなって、もっとも嫌なことやきついことがあっても、それに負けない力が付くし、周りの人からも好かれます。朝起きるのが苦手な人も、がまんして続けていけば、それが習慣になって嫌なことで無くなります。だから、今、小学校の時に「ラクダの時間」をたくさん勉強しないといけません。

だからといって、なんでもかんでもがまんしなさいと言っているわけではありません。自分の心が傷ついてどうしようもなくつらいことがあった時には、がまんせず、周りの誰かに相談しましょう。命に関わるがまんは必要ありません。

先生たちが「静かにしましょう」と言われますね。それは「しゃべりたいと思うけどがまんしてください」と言っています。「廊下をあるきましょう」は「急ぐ気持ちはわかるけど走るのをがまんしよう」、「チャイムで席につきましょう」は「もっと遊びたいと思うけどがまんしよう」と言っているのと同じです。明日からの夏休みは、「がまんしよう」を言ってくれる先生たちとは会えません。がまんする心を自分で育てる夏休みにしてください。そうしたらきっと、楽しくて安全な夏休みになると思います。



ラクダの時間、ライオンの時間、赤ちゃんの時間は順番も大事です。いきなりライオンの時間になると自分勝手なことばかり言うようになります。ライオンキングのスカーマイみたいなライオンです。赤ちゃんの時間は終わったという人もいるでしょう。でも、赤ちゃんの時に持っていた自分の力でやろうとする気持ちや、工夫してやり遂げようという気持ちは忘れてほしくないですね。今日で力合西小学校を転校するお友達もいます。いつか大人になって出会ったときにラクダの時間を大事にしたと話せるといいですね。

最後になりますが、先生に幸せな気持ちを持たせてくれた人にありがとうを言いたいと思います。朝から気持ちの良い挨拶をしてくれる人、横断歩道で止まってくれた車にお礼ができる人、風で倒れていたミニトマトの鉢を一生懸命もともどしてくれた人、トイレのスリッパをきれいに並べてくれた人、廊下にある本をそろえてくれた人、ありがとうございました。みんなのおかげで暑くてもきつくてもがまんができました。2学期に皆さんと会えるのを楽しみにしています。

.....

1学期の終業式は、全員集まって体育館で行う予定でしたが、熱中症対策のため、各教室でZoomで行いました。最後に話した人たちを、全員の前で紹介できなかったのが残念でしたが、1年生、3年生、5年生の代表の人が1学期にできるようになったことを堂々と発表してくれました。1学期間の成長が分かり、とても頼もしく感じました。

この1学期間は保護者の皆様に大変お世話になりました。ご協力に心から感謝申し上げます。明日から夏休みになります。明日からの夏休みも、子どもたちが元気で、健康に過ごすためにご協力をお願いします。